

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス英語 I Business English		（ NKT13D ）
講義名（コード）	ビジネス英語 I B		（ NKT13DB ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数	30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	For students to learn how to communicate in a business setting.
全体の内容と概要	Using the text as a work book, listening to lectures about business, and discussion times to further understanding.
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework, but they will have the option of doing research out of class to improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times they will be allowed to use their smart phones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Go over syllabus, discover English ability. First meeting communication	Orientation and introduction. English for Socialization: Chapter 4, Part 1
2	Learning to talk about personal lifestyle	Ability to talk about personal life: English for Socialization: Chapter 4, Part 5
3	Learn how to make a phone call	Learning English for the telephone: English for Socialization: Chapter 1, Part 1
4	Learn to organize your topics to discuss	Topic organization: English for Socialization: Chapter 1, Part 6
5	Learn to put together a good business letter	Writing for Business,: English for Socialization: Chapter 6, Part 1
6	Learning about write in business	Correspondence phrases for different situations: English for Socialization: Chapter 6, Part 4
7	Learning correct phrases in different situations	Writing Model Letters: English for Socialization: Chapter 6, Part 5
8	Learning good meeting habits	What makes a good meeting: English for Socialization: Chapter 3, Part 1
9	Using business meeting terms correctly	Meetings and key terms that are used: English for Socialization: Chapter 3, Part 2
10	Learning proper phrases in a discussion in a meeting	Opinions in meetings: English for Socialization: Chapter 3, Part 4
11	Understanding a good presentation	Steps for giving a good presentation: English for Socialization: Chapter 2, Part 1
12	Preparing a presentation for your listeners	Organizing a presentaton: English for Socialization: Chapter 2, Part 2
13	Understanding a successful negotiation	Negotiations: English for Socialization: Chapter 5, Part 1 and Test Review
14		Test
15		Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Communicating in Business English, Compass Publishing
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス英語 I		（ NKT13D ）
講義名（コード）	ビジネス英語ⅢA		（ NKT22IA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	PIERCE WILLIAM TROY	時間数	30
成績評価教員	PIERCE WILLIAM TROY	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To better understand business language and concepts.
全体の内容と概要	Textbook work, group and individual projects.
授業時間外の学修	Research and composition for projects and writing assignments.
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Can discuss documents and correspondence	Textbook Unit 5. Roleplay conversations about documents, correspondences, deadlines, and responsibilities.
2	Can use past simple language.	Textbook Unit 5. Use past simple language to discuss current and recent activities.
3	Can solve problems and communicate apologies.	Textbook Unit 5. Roleplay discussions of problems, solutions, and apologies.
4	Can discuss social media and networking.	Textbook Unit 6. Class discussion about the relationship between social media and business in today's world.
5	Can describe past events.	Textbook Unit 6. Writing descriptions of past activities and experiences.
6	Can handle small talk and conversations.	Textbook Unit 6. Large group conversation activity.
7	Can discuss departments and responsibilities.	Textbook Unit 7. Group project, company structure and organization.
8	Can describe position of place and movement.	Textbook Unit 7. Giving directions in conversation and email.
9	Can leave phone messages.	Textbook Unit 7. Practice leaving phone messages.
10	Can discuss employment.	Textbook Unit 8. Couple discussions about future employment plans.
11	Can communicate time.	Textbook Unit 8. Practice communicating and keeping schedules.
12	Can arrange meetings and events.	Textbook Unit 8. Group meeting project.
13	Exam prep.	Final exam preparation and review.
14	Final exam.	Final exam.
15	Exam feedback.	Final exam feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	Textbook, project materials.
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス英語Ⅱ		（NKT13E）
講義名（コード）	ビジネス英語ⅣC		（NKT22JC）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ビジネス英語特有の表現、語彙を習得し、ビジネスシーンで使える英語を身につける。
全体の内容と概要	リスニング、スピーキング、ライティングの練習を中心にコミュニケーション能力向上を図る。
授業時間外の学修	新しい語彙・フレーズの復習をし、会話文の音読練習をする。
履修上の注意事項等	クラスアクティビティに積極的に参加することが求められます。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	【海外出張】ホテルでのやり取りができるようになる	ホテルでのやり取りをペアで練習する。
2	【海外出張】レストランで注文ができるようになる	レストランでの注文の仕方をペアで練習する。
3	【海外出張】交通機関の利用・食事の買い出し等ができるようになる	交通機関の利用・食事の買い出し等の仕方をペアで練習する。
4	1～3回目 【海外出張】 の復習	様々な場面を想定して練習する。
5	【打ち合わせ】商談を行えるようになる	商談の仕方をペアで練習する。
6	【打ち合わせ】お客様の予約を取れるようになる	お客様の予約の取り方をペアで練習する。
7	同僚とスモールトークすることができるようになる	同僚とスモールトークできるように練習する。
8	5～7回目の復習	様々な場面を想定して練習する。
9	ビジネスメールへの応答ができるようになる	ビジネスメールの書き方を学ぶ。
10	Eメールの作成と返信ができるようになる	ビジネスメールの書き方を学ぶ。
11	同僚へのもてなしができるようになる	同僚のもてなし方をペアで練習する。
12	総復習①	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
13	総復習②	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Business as Usual
参考文献・資料等	英会話フレーズ大特訓ビジネス編、ゼロからスタートしごとの英会話、本当に必要な社内英語
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス翻訳Ⅱ		（NKT23F）
講義名（コード）	ビジネス翻訳ⅡA		（NKT23FA）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	木村 みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ビジネスで使われるメール・インフォメーション等を正確に理解し翻訳できるようにする。簡単なメールを英語で書けるようにする。
全体の内容と概要	TOEICのパート6・7の問題に取り組みながら、本文を日本語に書き換えてみる。英語でメールを書くために必要な語彙、形式を紹介する
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	従業員に宛てたお知らせの文章・送り状を理解できる	お知らせの文を翻訳する。Invoiceの見方・書き方を学ぶ
2	ホテルのウェブページ・レビューが理解できる	レビューのサマリーを日本語で書いてみる
3	電話のメッセージの読み方・書き方を理解できる	メッセージの書き方を学び、実際にメモをとってみる
4	カメラの批評のweb ページを理解できる	それぞれのカメラの評価をまとめて書いてみる
5	割引広告・メールサーバー停止のお知らせを翻訳できる	日本語に翻訳してみる
6	meetingのアジェンダの読み方。作り方を理解できる	meetingのagendaを作り、staffにそれを知らせるメールを作成する
7	従業員に向けたstrategic planのe-mailを翻訳できる	e-mailを翻訳する。
8	車のディーラーからのお知らせとアンケートを理解できる	お知らせの書き方、アンケートの作り方を学ぶ
9	人事部からの職位に関するレターを翻訳できる	日本語に翻訳する
10	ツアーのitineraryを英文で書ける	簡単なツアー日程を英語で書いてみる
11	会議の議事録を翻訳できる	会議の議事録を翻訳してみる
12	オフィススペースのレンタル広告を理解し返信できる	オフィスのレンタル広告をみてそれに対する返信を書いてみる
13	まとめ	復習・テスト対策
14	テスト	
15	テストFB	テストの解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	公式TOEIC Listening & Reading
参考文献・資料等	ビジネスで1番よく使う英語E メール
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス翻訳Ⅱ		（ NKT23F ）
講義名（コード）	ビジネス翻訳ⅡB		（ NKT23FB ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1/2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ビジネス英語特有の表現、語彙を習得し、ビジネスメールなどの翻訳ができるようになる。
全体の内容と概要	相手や場面に応じた言葉（フォーマル、セミフォーマル、カジュアル）の使い分けができるように語彙力と表現力を身につける。
授業時間外の学修	Unitごと習うビジネス特有の表現・語彙の復習をする。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	ビジネスフレーズを瞬間英訳できるようになる	ビジネスフレーズを学び瞬間英訳トレーニングを行う。
2	「品物がとどかない」クレームメールを理解できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
3	「品物が不足している」メールを理解できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
4	「品物が破損・不良品」メールを理解できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
5	「出荷の遅れを謝罪する」メールを理解できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
6	「品違いを謝罪する」メールを理解できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
7	【Unit9】招待できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
8	【Unit10】予約できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
9	【Unit11】キャンセルと予定変更ができるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
10	【Unit12】場所を説明できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
11	日常業務に関するメールのやり取りができるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
12	総復習①	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
13	総復習②	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Go Global
参考文献・資料等	入門ビジネス英語、書けるEメール・ライティング、英文ビジネスEメール文例集
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	社会学Ⅱ		（ NCR22N ）
講義名（コード）	社会学Ⅱ		（ NCR22NX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	堀 文	時間数	30
成績評価教員	堀 文	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	社会問題について理解を深める。他人事ではなく自分の事として社会問題について意見交換をする。
全体の内容と概要	社会問題に関する動画や資料を見て理解をする。自分の意見を述べ、疑問点や解決策を話し合う。
授業時間外の学修	日常的に社会で起こる問題に対し、自分なりの意見を持つよう意識を高める。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	戦争に関する理解	戦争について考える。
2	戦争に関する理解	戦争について考える。
3	SDGsに関する理解	SDGsについて考える。
4	SDGsに関する理解	SDGsについて考える。
5	SDGsに関する理解	SDGsについて考える。
6	自分で選んだテーマの理解	自分で選んだテーマについて問題提起をし意見を述べる。
7	自分で選んだテーマの理解	自分で選んだテーマについて問題提起をし意見を述べる。
8	自分で選んだテーマの理解	自分で選んだテーマについて問題提起をし意見を述べる。
9	自分で選んだテーマの理解	自分で選んだテーマについて問題提起をし意見を述べる。
10	自分で選んだテーマの理解	自分で選んだテーマについて問題提起をし意見を述べる。
11	自分で選んだテーマの理解	自分で選んだテーマについて問題提起をし意見を述べる。
12	自分で選んだテーマの理解	自分で選んだテーマについて問題提起をし意見を述べる。
13	自分で選んだテーマの理解	自分で選んだテーマについて問題提起をし意見を述べる。
14	期末テスト	期末テスト
15	フィードバック	フィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	卒業研究		（ NKT22Q ）
講義名（コード）	卒業研究A		（ NKT22QA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	1
授業担当者	堀 文	時間数	30
成績評価教員	堀 文	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	パワーポイントを使いながら英語で発表する事ができる。 ビジネスシーンで役に立つプレゼンテーションの技術を習得し実践する。
全体の内容と概要	自分の関心のあるテーマを選び、そのテーマについて調査及び考察をし、PPTを用いて英語でプレゼンテーションを行う。効果的なプレゼンテーションについて考え、実践する。
授業時間外の学修	プレゼンテーションの練習をする。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	卒業発表についての流れを知る。	卒業発表準備についての流れを説明。興味のあるテーマをあげてみる。
2	自分が興味のあるテーマを探し、発表の内容について具体化できる。	今まで学んだ内容に沿った興味のあるテーマを探す。
3	自分が興味のあるテーマを探し、発表の内容について具体化できる。	内容についてのOUTLINE作成。
4	発表の内容について具体化できる。	内容についてのOUTLINE作成。
5	内容についての情報収集ができる。	内容についての研究、課題抽出、リサーチ等を行う。
6	内容についての情報収集ができる。	内容についての研究、課題抽出、リサーチ等を行う。
7	卒業発表のため今まで学習した知識を更に深く考察することができる①	研究、リサーチした内容をまとめ、PPT作成を始める。
8	卒業発表のため今まで学習した知識を更に深く考察することができる②	研究、リサーチした内容をまとめ、PPT作成を始める。
9	自分の言葉で表現することができる①	内容にあった写真やグラフ等を入れる。
10	自分の言葉で表現することができる②	PPTを完成させ、発表文を作成する。
11	自分の言葉で表現することができる③	PPTを完成させ、発表文を作成する。
12	自分の言葉で表現することができる④	PPTを完成させ、発表文を作成する。
13	自分の言葉で表現することができる⑤	リバーサルを行い内容について修正を入れる。
14	まとめと解説	修正箇所を見直し、時間を計ってリハーサルを行う。
15	まとめと解説	卒業発表の最終リハーサル

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	中国語初級Ⅱ		（NCR22P）
講義名（コード）	中国語初級Ⅱ		（NCR22PX）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	姚 海玲	時間数	30
成績評価教員	姚 海玲	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	就職時に役立つようにHSK2級の習得を目指し、中国語の基本的な能力を身につける
全体の内容と概要	教科書の内容に沿って行い、練習問題を多く解く
授業時間外の学修	宿題を課す
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	UNIT3の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	「時刻や時間の言い方について」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題を学ぶ
2	UNIT4の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	年月日・3けた以上の数字について」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
3	UNIT5の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	「数量の表見，量詞の使い方について(1)」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
4	UNIT6の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	「数量の表見，量詞の使い方について(2)」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
5	UNIT7の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	「中国語の前置詞，介詞について(1)」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
6	UNIT8の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	中国語の前置詞，介詞について(2)」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
7	UNIT9の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	「中国語の助動詞，能願動詞について(1)」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
8	UNIT10の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	中国語の助動詞，能願動詞について(2)」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
9	UNIT11の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	「動詞述語文の用法について」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
10	UNIT12の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	「副詞の使い方について」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
11	UNIT13の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	疑問代詞を使った疑問文について」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
12	UNIT14の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	「『了』の用法について」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
13	UNIT15の本文、新出語句等を理解し、練習問題を解くことができる	「進行のアスペクトについて」単語、文法の確認、課題文の翻訳、練習問題で学ぶ
14	まとめと解説	テスト対策
15	まとめと解説	テスト対策

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	HSK公認テキスト2級 改訂版
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	通訳演習Ⅱ		（ NCR23E ）
講義名（コード）	通訳演習Ⅱ		（ NCR23EX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	木村 みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	通訳を通して英語と日本語のコミュニケーションをスムーズに取れるようにする
全体の内容と概要	リテンション、サマライズ、ノートテイキングなど、通訳に必要なスキルを学ぶ。例文を何度も発話することで「使える」表現として定着させ、クイックレスポンスができるよう訓練する。
授業時間外の学修	シャドーイングやリピーティングなど、自習できるものは普段から実践する。 既習内容を復習し、定着させる。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	比較級を使った文章に重点を置きを訳せる	テキストのPassageの内容を理解し訳す。
2	自然な日本語で訳せる (E→J Delivery)	自然な日本語になるよう意識して訳す。状況により言葉を変える練習
3	so that の構文に注意して読める	テキストのPassageの内容を理解し、例文をクイックレスポンスで訳す。 置き換え練習で類似表現の通訳にも挑戦する。
4	ホテルの予約を通訳できる	テキストのPassageの内容を理解し、例文をクイックレスポンスで訳す。 置き換え練習で類似表現の通訳にも挑戦する。
5	rarely hardly に気をつけて文章を訳せる	テキストのPassageの内容を理解し、例文をクイックレスポンスで訳す。 置き換え練習で類似表現の通訳にも挑戦する。
6	suggest を使った表現を使える	テキストのPassageの内容を理解し、例文をクイックレスポンスで訳す。 置き換え練習で類似表現の通訳にも挑戦する。
7	There was no～ のような no～ を使った表現を使える	テキストのPassageの内容を理解し、例文をクイックレスポンスで訳す。 置き換え練習で類似表現の通訳にも挑戦する。
8	知覚動詞+o+現在分詞を使った文を通訳できる	テキストのPassageの内容を理解し、例文をクイックレスポンスで訳す。 置き換え練習で類似表現の通訳にも挑戦する。
9	would の色々な表現を使い分けられる	テキストのPassageの内容を理解し、例文をクイックレスポンスで訳す。 置き換え練習で類似表現の通訳にも挑戦する。
10	インタビューをする／受ける ことができる (グループワーク)	3人のグループを作り、一人が質問する、もう一人が質問に答える、もう一人が通訳する側になって練習する
11	プレゼンテーションをする／訳す ことができる (ペアワーク)	一人が短いプレゼンテーションを行い、もう一人が通訳する。
12	まとめ・復習 1	1年間で履修した内容のまとめ、実習課題 1
13	まとめ・復習 2	1年間で履修した内容のまとめ、実習課題 2
14	テスト	後期テスト
15	FB	テストフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	話すための瞬間英作文トレーニング・音読パッケージトレーニング
参考文献・資料等	なし
備考	なし